

# CJM REPORTER

カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2017年秋

## SUNNYSIDE CAMP

キャンプ委員会委員長 デビッド・タノ

### 主の素晴らしさに圧倒され...

毎年、私にとっての「アルバータのど真ん中の隠れた宝石」について報告できることを嬉しく思います。このキャンプが小さな集まりとして始まったその時から、神様は日系カナダ人に届いていきたいという熱い思いとビジョンをその集まりに与えて下さり、主はこのキャンプを人間の思いをはるかに超えたミニストリーにまで成長させて下さいました。毎年毎年、神様がキャンプ参加者に成して下さる業を目撃し、神様が如何に偉大で愛に満ちたお方であるかという事実が圧倒され続けています。毎年参加者は増え続け、キャビンごとに定員を設けなければならない状態となり、もうこのミニストリーは「隠れた宝石」ではなくなってきました。2017年度は過去最大規模のキャンプが行われ、300人ほどのキャンプ参加者がありました。主は素晴らしいお方です！

今年のキャンプの特徴としては、参加者の中に、初めてキャンプに参加する人、そして福音を今まで一度も聞いたことがない人の割合が高かったということです。この事実がキャンプ委員はよいチャレンジを受け、そのような方々により効果的に届いていくことを念頭において、私たちが今行っているプログラムを再検討していくつもりでいます。

そして今年は私たちのよく知っているマリー・ホリウチさんが、素晴らしい証とともに洗礼を受けられました。マリーさん、おめでとうございます！

今年は英語のスピーカーとしてポートコキットラム教会のマシュー・ジョンストン牧師を一家と共にキャンプにお招きしました。そして、日本語のスピーカーとして日本の前橋から内田 和彦牧師が来て下さり、数多くの日本からの若者が、福音のメッセージに熱心に耳を傾けていました。

サニーサイドキャンプに一度も参加されたことのない方、2018年のキャンプにどうぞ足を運んで下さい。来年度は7月29日から8月4日に行われます。定員がありますので、早めにお申し込みください。\*

## 北東日系クリスチャン 修養会 2017

今年は、北東日系クリスチャン修養会が始まって第31回目となりました。会場は昨年と同じスカボロー・ミッションというカトリックの建物を借りて、4月28日（金）夜から29日（土）夜にかけて行われました。2日間ですべて参加、子供たちを合わせて50名近い方が参加されました。

講師は、エドモントン日系クリスチャン教会の田村寿宏牧師で、テーマは「使徒パウロの遺言、困難な時代を生きるキリスト者へ」でした。4回のセッションで、とても霊的で分かりやすくお話をしてく下さいました。

第1回目のセッションでは、「召命」（第二テモテ1章）、第2回目は、「福音」（第二テモテ2章）、第3回目は、「試練」（第二テモテ3章）、第4回目は、「希望」（第二テモテ4章）についてお話しをしていただきました。毎日の生活の中で、クリスチャンとして患難にあっても、神の栄光を現し、神を喜ぶことの大切さを分かりやすく教えて下さいました。

今年も各集会の初めの賛美を、トロントにある4つの教会/集会が担当しました。

来年春には、スカボロー・ミッションが建て替えられるので、今年がこの場所での最後の修養会になりました。来年からは、トロント日系福音教会で開催することになる予定です。\*



The CJM REPORTER is published semi-annually by the Canadian Japanese Ministries. News items, reports, testimonies and notices of events are welcomed by the editors. Next publication, October 15, 2016. Published in Toronto, ON

CO-EDITORS:

Nori Kanashiro 56 Wakefield Cres., Toronto, ON M1W 2C2 Tel: 416-321-5831 Email: nbkan11@gmail.com  
Rev. Edward Yoshida 3650 Kingston Rd. PH-09, Toronto, ON M4C 2C4 Tel: 416-261-4302 Email: esyoshida@sympatico.ca

JAPANESE TRANSLATION: Miki Nakano, Yumi Ijichi, Minako Ebisuzaki, Masako Tanaka

YOUTH IN ACTION Editor: Marie Fuki Email: marie.fuki@yahoo.com;

CJM Website: www.CJMin.com

2017年のCJM年次総会及びミーティングのテーマは、ピリピ人への手紙1章6節、「あなたがたのうちに良い働きを始めた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させて下さることを私は堅く信じているのです。」でした。この箇所を読むと、神様が私たちの中に始められ、今日も続けているその働きについて考えさせられます。CJMに関わってこられたバンクーバー日系福音教会のTony Schmidt 牧師と、メノナイト日系クリスチャンフェローシップのGerald Neufeld 牧師が、日本で体験された神様の働きについてシェアして下さいました。

例年、CIMの総会は各地のホスト教会の主催にて行われてきました。2017年はエドモントン日系キリスト教会にて行われました。2018年はトロント日系福音教会(JGCT)にて行われる予定です。

さて、2017年の総会では、次期CJMのディレクターに、JGCTのケビン上田牧師が就任することが決まりました。ケビン牧師は現在、JGCTの英語の牧師を担っています。彼のCJMとの関わりは長期に渡ります。2002年夏季には短期ワーカーとして働き、2007年から今日までCJMの理事を務めています。彼はミッションへの深い情熱を持っており、これまで教会や外部宣教団体を通じた海外への短期長期ミッションに参加してきました。彼はまた、他のアジア系ミニストリー団体との新たな関係構築や協働を手掛け、セミナー講師や基調講演なども数多く行ってきました。今回、理事会員全員の一致にてケビン牧師の次期CJMディレクターが推薦されました。\*



ケビン・ウエタ牧師

主にあつて愛する神の家族の皆様へ、神様よりの豊かな祝福と平安をお祈り申し上げます。2011年に東日本大地震のためSamaritan's Purse(SP)より災害支援のため私達は東北に行き、津波で被害を受けた家の修繕、仮設住宅や地元教会等の支援活動に従事させていただきました。2013年にSPの災害支援を終えた後も、神様が心に働きかけてくださり、豊かな泉ミニストリーとして引き続き日本での宣教活動を昨年11月まで続けてきました。(豊かな泉ミニストリーは終わったわけではありません。今もfollow up はインターネットを用いて続けています。できれば毎年follow up ministryに日本へと願っています。)

その間、神様が多くの魂を救ってくださっています。ハレルヤ! さらに被災地に新しい伝道所や家の教会、憩いの集会場が建設されました。また東北のみならず熊本地震支援にも遣わされました。豊は、ネパール(地震)、ギリシャ(シリア難民)の支援活動にも遣わされました。カナダに帰ってからも昨年12月から今年の1月末まで豊は、SPの要請に応じて北イラク、モスル近郊の野戦病院の設営にも遣わされ貴重な体験をして参りました。

このようにして私達の人生を変えたSPとの関わりが続いている中で、Dease Lake(Northern BC)に新しくできたministry Centerの人手不足とMinistryのために祈ってくれないかと声をかけられました。またもやスーツケースを持って片道1800キロ、今年5月に1ヶ月間SP Ministry Centerを手伝いに行きました。現場での必要が多いことや先住民の方々の辛い歴史や生活の様子を知らされ、胸に迫る痛みを感じさせられました。取るに足りない器の私達でも主に用いていただけるのなら、御心のまま導いてくださいと二人して祈りました。これからの主のご計画に期待しつつ、イエス様から目を離すことなく信じてお仕えして行きたいと願っております。

どうか、皆様のお祈りのうちにDease Lake 地域のFirst Nationの人々が救われ、主に栄光が帰されますように、さらに主が働き人を送ってくださいますようにと祈り覚えてくだされば幸いです。\*



2017年度CJM理事

(前列左より) Ed Arinobu, Valerie Secord, Pastor Tony Schmidt, Nori Kanashiro, Pastor Kevin Ueta, Mark Hoshizaki & Pastor Gerald Neufeld. (後列左より) Marie (Fuki) Duavis, Pastor Masato Murai, Pastor Ted Fukusaku, Tim Shigemitsu, Larry Iwamoto, Pastor Tom Horiuchi & Pastor Minoru Enoki. (Missing in photo) Izumi Araki

## 献金

オンラインでのCJMへの献金は[CanadaHelps.org](http://CanadaHelps.org)もしくは[www.CJMin.com](http://www.CJMin.com)からお願いします。

献金を郵送していただく場合は以下の住所をお願いします。

**Canadian Japanese Ministries**  
PO Box 92124  
Scarborough ON M1W 2S0

## グレース日系クリスチャン教会

407 Cougar Street, Banff, AB  
(Banff Full Gospel Churchにて)

日曜礼拝: 午前9時より

牧師: 榎実

Eメール: [banffgjc.enoki@gmail.com](mailto:banffgjc.enoki@gmail.com)



親愛なるCJMファミリーの皆様 主の御名を心から賛美し崇めます

季節の変わり目においてここアルバータ州においては山火事の煙の影響で息苦しい日々が続いておりましたが恵みの雨と共に秋の訪れを感じる昨今であります。皆様はお元氣でしょうか？私事ではありますが、先日、我が家に2人目の命が与えられ、コロサイ2章10節より希望の主であるキリストが満ちる人生を願い、名前を“満希”（みつき）と命名しました。彼女の成長の為に是非祈りに覚えてくだされば幸いです。

さて、私たち夫婦がこの地に遣わされて4年目に入る今年、地域へのアウトリーチとしてパンフのメインストリートにおいてpraise/worshipをする機会を今週末にもつ予定になっています。是非、この事も祈りに覚えてくだされば幸いです。年間400万人以上の方々行き交うこの大通りに関して愛する兄弟姉と共に主を崇め、地域へと主の臨在が運ばれ、満ちる時間となることを期待しています。また、今年の野外礼拝においても沢山の方々が礼拝に集ってくださり、15名の未信者の方々が礼拝へと招かれたことを感謝致します。今回来てくださったMご家族の息子さんが重度な心臓疾患を患っておられ、この為に教会として祈り続ける中で主が手術の行程、また日程も含め豊かに祝福して下さり、奇跡的な術後の回復までみさせてくださいました。そのことを通じてご家族が初めて礼拝へ足を運んでくださったこともGJCCにとって大きな励ましとなりました。不思議な形で祈りを聞かれる主がCJM諸教会の天幕を豊かに広げ、更なる御国の前進の為に教会を祝福して下さいますようにパンフの地よりお祈り捧げています。\*

## モントリールJCF

Peoples Church (地下にて)  
2097 Union Ave., Montreal, QC  
集会: 第3日曜日午後2時より  
吉野治代

[montrealjapanesechristian@gmail.com](mailto:montrealjapanesechristian@gmail.com)



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネによる福音書 15章5節)

信実な主の豊かな恵みに感謝します。5月まで毎月聖書の勉強会を続けました。夏の間、お休みがありましたが、9月から再び勉強会を再開しています。夏の間はスペシャルイベントとしてBBQ(6月)とクッキングクラス(7月)を行いました。

BBQは多くの参加者に恵まれました。多くのゲストやメンバーの家族が参加されました。

7月はグループのメンバーでパティシエの女性が講師になり、クッキングクラスを開きました。マンゴプリン作り方のデモンストレーションをくださった後、皆で美味しいプリンをいただきました。又、彼女がどのようにパティシエになったのか、神様がどのように職場で助けてくださっているかなどをシェアしてくださいました。このクラスには何人かのノン・クリスチャンのお友達も参加なさいました。

夏の間、4家族がモンリオールから引っ越しましたが、神はずでに数人の新しい方たちをお与えになりました！クリスチャンの若い男性がグループに新しく加わり、ギターで賛美リードをしてくださいました。

毎月の勉強会とは別に今年度は月一回、食事会とカジュアルなディスカッションができる集まりを計画しています。これはメンバーたちが友達を連れてこられる場になればと願っています。

神様が今年度も又、モンリオールに住む日本人の間でどのような働きをなさるのかを見るのをとても楽しみにしています。\*

## ビクトリア日系人教会

877 North Park St., Victoria, BC  
(First Baptist Churchにて)  
日曜礼拝: 午後1時30分より  
Eメール: [ymishiguro@shaw.ca](mailto:ymishiguro@shaw.ca)  
牧師: 石黒豊 778-265-6092



素晴らしいビクトリアの大自然の中で、教会に集う方々、主にある方々の尊い祈りと励ましに支えられ、また主ご自身が豊かにこのビクトリア日系人教会を愛され、導いて下さり、今この時まで来られた事を心より感謝しています。6月には内藤容子師をお迎え致しまして「ライブゴスペルコンサート礼拝」を開催することが出来ました。主は豊かに祝福して下さり、多くの方々を招待することが出来ました。賛美と証しとメッセージで感動と主のご愛に包まれたひと時を持つことができました。

た。また「ユースの集い」も充実し、ビクトリアの大自然などを堪能した後、聖書の学び、賛美、交わりを持ち、この集いを通して8月に1人の方がイエス様に人生を導いて頂きたいと信仰告白されました。ハレルヤ感謝です！

【詩編18編2節】「主はわが巖、わがとりで、わが救い主、身を避けるわが岩、わが神。わが盾、わが救いの角、わがやぐら。」主は大きな慰めと励ましで私たちを導いて下さっています。感謝です。毎週木曜日の午後7時からの聖書の学びが10月から新たに始まります。主を慕い、主に愛されている兄弟姉妹が集まり、互いに励まし合い、素敵な交わりを味わってゆく、これらも1つも目的として祈り進んでいます。是非これからもビクトリア日系人教会のことを覚えて頂きお祈り加えて頂ければ感謝です。素晴らしい主の御名を賛美致します。\*

## クロスオーバー日本人教会

1313 Ranchlands Way NW, Calgary, AB  
(Westview Baptist Churchにて)  
日曜礼拝：午後2時より  
牧師：谷口洋一 電話：403-455-0074  
Eメール：ymtaniguchi@hotmail.com  
www.crossoverjapanesechurch.com



ここ数か月も、主はいろいろな分野で私たちの教会を祝福してくださいました。

春、「祈りの勇者」という祈りのグループが与えられました。礼拝後の交わりの時をもっと有意義に主のために使いたいという思いから始まったグループです。彼等は黄色のリボンを付け、祈りを必要とする人たちのために祈ってください。彼等のこの祈りの奉仕は、私たちにとって大きな励みとなっています。

新しく「めし屋ハレルヤ」というプロのシェフをリーダーに料理を作るグループができました。学生達は、礼拝後、夕食を食べるためにレストランに行きます。少しでも彼等の経済的助けをしたいという思いからできたグループです。また、音楽の賜物がある姉妹も加えられ、最初は一つの賛美グループでしたが、今は4つのグループで交代でできるようになりました。また、パワーポイント、音響などの奉仕者も徐々に与えられています。

青年たちを招いての映画会も数回やりました。これは若者たちに人気で、毎回20名を超える人たちが参加してくださっています。参加したノンクリスチャンの人たちが教会にも来てくださるようになりました。

主の恵みにより、この半年の間に、3名の洗礼者と2名の決心者が与えられました。イエス様を受け入れた学生が、イエス様と共に、日本に帰国できたことは嬉しいことでした。またメンバーの一人が神学校に導かれ、アンブローズで勉強中です。また、サニーサイドで、神学校に行く決心をした青年もいます。次の世代になってくださる献身者が与えられているということは何と幸いなことか、主に感謝しています。\*

## ウィニペグ日系アライアンス教会

549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9  
(Trinity Baptist Churchにて)  
日曜礼拝：午後2時より  
Miyako Ogasawara - Leader  
winnipegjapanesechurch@gmail.com



4月の第一日曜日、ボビー・ベイデン宣教師ご一家が私たちウィニペグ日系アライアンス教会(WJAC)を5年ぶりに訪問してくださいました。ベイデン宣教師は現在日本の山口県にて活動なさっていますが、日本へ出発されるまでの数年をウィニペグにて過ごし、WJACでもご奉仕してくださいました。私たちは継続してご一家を祈りの面からと経済的な面からサポートしており、今回の訪問を心待ちにしていました。日本で産まれた2人の男の子、ジョシュア君とノア君と会えたのも大きな喜びです。再会の時はあっという間に過ぎましたが、最後にお祈りの時を持ってご一家をお送りいたしました。教会は都合により今年5月中旬から一ヶ月間礼拝をお休みしました。6月中旬に礼拝を再開してメンバーとの再会を喜んだのも束の間、7月下旬に長年の教会メンバーでいらっしゃる申八重子姉が入院されたとの連絡がご家族よりありました。

申八重子姉は今年94歳、40年ほど前に韓国よりいらした方ですが、日本の大阪にて生まれ、結婚するまでは大阪で生活をしていました。ご主人との結婚で祖国韓国へ移られた後、そのご主人を朝鮮戦争で失い、大変な苦労をしながら3人の子供を女手一つで育て上げ、先にカナダに渡ってビジネスを始めた息子さん一家を助けるために、移住なさいました。申八重子姉妹は足腰もしっかりとしていて、いつも明るい笑顔で教会のご奉仕をなさっていたので、入院の知らせに私たちは大変驚きましたが、すぐにブルース・ヤロー師を中心とした訪問チームが組まれて姉妹のお見舞いを行い、教会でも申八重子姉妹のためにお祈りの時を持ちました。医師によると、脳を損傷したために、年齢的なことも考えるとどこまで回復するかわからないとのことですが、お見舞いをするたびに少しずつ確実に回復している姿を見ることができ、私たちへ大きな喜びと励みを与えてくださっています。申八重子姉妹の様子はヤロー師によりメールにて姉妹を知る人たちへと知らされ、カナダ・日本・韓国と祈りの輪がどんどん大きくなっています。

同じ頃、かつてWJACの礼拝に出席され、現在はカルガリーに住む姉妹より祈りのリクエストが届きました。体調を崩されて病院で検査を受けることになっている息子さんが、病院へ行くことを大変恐れているので、不安を取り除き無事に検査を終えることができるようにというのがリクエストの内容でした。私たちは毎週礼拝後にお祈りの時を持ちました。その後しばらくして検査が無事に終わったとの連絡をいただき、皆で神様に感謝のお祈りを捧げました。

この半年はこのように、お祈りの大切さ素晴らしさを改めて認識する機会を与えていただきました。\*

## メノナイト日本語キリスト集会

12246-100th Ave., Surrey, BC V3V 2X1  
(Living Hope Christian Fellowshipにて)  
日曜礼拝：午後3時より  
牧師：ジェラルド・ニューフェルド  
電話：604-596-7928  
Eメール：gmeunfeld5@yahoo.ca



私たちのメノナイトの教会は夏の修養会、子供のキャンプ、野外礼拝、BBQなどいろいろと忙しい夏を過ごしました。また、今年初めてYouthグループが1泊のキャンプをSquamishで行いました。聖書を学び、野外活動をしたりと楽しいキャンプでしたが、反省点も示され、次回に向けてさらによいキャンプを準備し、そしてYouthの1人ひとりが神の存在を身近かに感じる事が出来るように祈っていきたく思います。教会がどのように成長していくのか、信徒の交わりだけではダメです、やはり1人ひとりが神様に結びついていかなければなりません。

日本人が少ないところでは教会成長は難しいですが、神様は必ず私たちの必要を満たしてくださいと信じます。

そのような夏の各行事も終わり、この秋から冬にかけて、会員一同心一つになって、神の栄光をさらに現して行きたいと思えます。秋の最大行事であるMCC(Mennonite Central Committee) Festival for World Reliefがアボツフォードで2日間に渡って開催され、今年も無事Sushiを販売いたしました。Youthのメンバーが中心に販売を担当してくれました。このセールの収益金はすべて、発展途上国の援助(教育、農業その他)を支援する宣教師のため、また難民支援などMCCの活動のために使われています。遠い山の向こうという考えでなく、私たちは神様の御心にそった歩みをする事だと考えます。そして、考えさせられた事を真剣に祈るという事、聖書を読んで日々、神様を求めなければなりません。教会がこれまで以上に、積極的に取り組んでいかなければと示されています。\*

## バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1  
日曜礼拝 午前11時より (日本語/英語)  
福迫徹也牧師 (日本語部)  
604-517-4578 vjgc@telus.net  
www.japanesegospelchurch.com



主イエス・キリストの御名をほめたたえます。

今年の夏から秋にかけて教会は忙しい時期を過ごしましたが、全てが主によって導かれ、主の福音宣教の働きに用いられたことを感謝しています。

その中でも9月9日にマイケル・J・フォックス劇場で行われた第12回ゴスペル・ナイトについて記したいと思えます。今年は、過去12回の中で最大の400名以上の人が集められましたが、半数以上は日本人のノンクリスチャンでした。2008年に最初に行われた時は150名位で、ほとんどの参加者がクリスチャンでした。

この間、神様の驚くべきみわざによってこの働きが祝され、成長していく様子を体験させていただきました。多くの方が主を信じるようになり、少なくとも4組が結婚に導かれ、霊的に成長した人々もたくさん起こされました。ゴスペルナイトが始まった時、私たちの教会には少数の若者しかいませんでしたが、今では中高生だけでも30~40人が毎週礼拝に来ています。今年のゴスペルナイトの成功の別の要因は、10人ほどの人たちが毎日、1か月ほどの間、トラクト配りに出かけて行ったことです。彼らはスマホを使い、出会った未信者とコンタクトを取るようになりましたが、それは大変、有効な伝道方法となりました。その結果、ゴスペルナイトから新しく7名が教会の礼拝に来ています。

使徒1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」  
私たちが主イエス・キリストを受け入れる時、私たちに聖霊が与えられます。そして、聖霊は私たちに力を与え、様々な方法と機会を通して、主イエスの証人にしてくださるのです。  
この主と主のみわざをほめたたえます。\*

## エドモントン日系キリスト教会

9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5  
(Zion Baptist Community Church にて)  
日曜礼拝: 午後2時より(バイリンガル)  
牧師: 田村寿宏 電話: 587-986-8161  
Eメール: tamuratoshihiro1981@gmail.com  
教会HP: www.ejcc.ca



主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の豊かな恵みと祝福をお祈り申し上げます。今年はCJMの年次総会をエドモントンで開催することができ大きな喜びと祝福の時を過ごすことができました。毎年このように皆様と顔をあわせ、主の素晴らしい働きを分かち合えることは大きな励みです。

年次総会でもお話しがりましたが、今後はケビン牧師がCJMの新しいディレクターとして就任することになりました。長年ディレクターとしてCJMにその生涯を捧げてくださったKanashiro先生に心より感謝申し上げるとともに、新ディレクターのKevin先生の上に主の豊かな祝福と導きがありますように心よりお祈りいたします。また先生と主のために共に働かせて頂ける機会を楽しみにしています。

ここからは個人的な報告になってしまいますが、今夏約五年ぶりに日本に一時帰国する機会が与えられました。日本滞在中多くの恵みと祝福を頂きましたが、特に昨年の夏にご結婚され日本に遣わされたJoyce姉と望兄に福島で再会できたことは大きな喜びでした。現在望兄は郡山福音キリスト教会にて伝道師として働きつつ、福島HOPEプロジェクトというミニストリーに関わっておられます。この働きは東北震災で被災され、現在も様々な困難や制約の中で生活されているお母さんと子供たちを対象としたミニストリーです。



田村寿宏 牧師、ひろみ夫人  
ひなたちゃん

(<https://www.fukushimahopecoalition.com/>) ぜひ彼らの働きのために覚えてお祈りください。

また彼らに限らず、私たちの祈りの中にはすでにカナダを離れている人々も多くいます。主が引き続き彼らを守り祝福してくださいませように。皆様の上に、また世界中の兄弟姉妹の上に主の豊かな恵みと祝福がありますよう心よりお祈りいたします。\*

## カルガリー日系人福音教会

2203-15A St. S.E., Calgary, AB  
日曜礼拝: 午前10時30分より  
牧師: 堀内友幸 (日語)  
電話: 587-434-1783  
www.calgaryjapanesegospel.com



神のみ言葉のメッセージは今も聞く私達に神の命と力を与えることが出来るのです。これは聞く側の私達が神のみ言葉の素晴らしさを如何に受け取るかにかかっているのです。素晴らしい神のみ言葉の命と力が今も私達に与えられていることを感謝せずにはおれません。今年 6月2日(金)-4日(日)まで小林正則先生を講師としてお迎えしてWeekend Retreat特別伝道集会「キリスト教だけの理屈」のテーマの元に行うことができました。日本から留学しておられる大学生達が福音:未知の未来に対して、私達の死後においてさえも、神を信じることの力強さを知ることが出来ました。

サニーサイドキャンプにも日本人留学生達と青年が7名参加することができました。そして洗礼式を通して、救われることの素晴らしさ「主イエス・キリストが私達の罪のために身代わりとなって十字架に付けられ、死から甦って私達の罪をお赦し下さった主イエスを信じることによって私達の罪が赦され、永遠の命を持つことができること」を知ることが出来たことを感謝しています。現在も毎週日曜日の礼拝と夜に持たれる聖書の学び会にも日本人留学生達が続けて来られています。

7月にスタンピードバーベキュー、カナナスキスキャンプ、8月にはサニーサイドキャンプ、ゴスペルカップ・ソフトボール教会対抗試合が持たれました。8月12日にカルガリー日系人お祭りがカルガリー日系人協会の主催によってMax Bell Centreで持たれ、カルガリー日系人教会はお好み焼きの店舗を任せられ、またカルガリー日系人教会のテーブルが与えられて、多くの人たちに福音を語ることができました。毎年、日系人お祭りを通して新しい方達が教会に来られています。教会に来ることが義務でもプレッシャーでもなく、神様からの本当の自由が与えられ、どのような時にも主からの助けがあることを知り、喜んで教会に来られています。

主の聖名を崇めています。\*